

# 実践報告①

わたしたちが支援者として大切にしていること

山下佑子 鈴木智子 齊藤由樹

## 事例①

気持ちが揺れやすく、こだわりに偏向するAさん

# 1 Aさんの紹介

## <プロフィール>

- ・小学4年生 女子
- ・重度知的障害 自閉症 てんかん
- ・入園7年目
- ・精神科薬の服薬あり

## <入園時の様子>

- ・3歳
- ・人見知り 頑固
- ・自分の思い通りにならないと怒って泣く
- ・手の甲を噛む自傷あり

## 2 支援経過

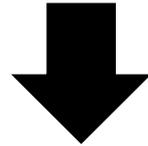
### 1) Aさんと私の1年目

- ・ 入園3年目、6歳
- ・ 担任3名中2名変わる
- ・ 人との関わりを楽しめる柔軟性
- ・ 意に沿わないと泣く、ぐずる
- ・ 一度泣き出すと切り替わりにくい

1年目での主な難しさ  
①安定しない情緒  
②進みにくい食事

## 【難しさ①：安定しない情緒】

一度泣き出すと切り替わりにくい



〔対応〕 気持ちを受け止め、安心できる関係づくり

- ・ 抱っこで気持ちを落ち着かせる
- ・ 静穏環境の活用



見守りで気持ちを切り替えることが増える

## 【難しさ②：進みにくい食事】

口の中で食材をずっと噛み続けている  
飲み込むまで時間がかかる



- 〔対応〕 気持ちよく食べる雰囲気づくり
- ・食べきれぬ量で、刻んで提供
  - ・スプーン一口分で、食べられた時は褒める
  - ・飲み込めない時は、吐き出すことを促す



半年程で一定量を安定的に摂れる

## 2) Aさんと私の2年目

- ・ 入園4年目、小学1年生
- ・ 担任3名中1名変わる
- ・ 人との関わりを楽しめる柔軟性
- ・ 意に沿わないと泣く、ぐずる
- ・ 泣く時、ぐずる時の要因に変化はない

2年目での主な難しさ  
①安定しない情緒  
②安定しない食事

### 3) Aさんと私の3年目

- ・ 入園5年目、小学2年生
- ・ 担任3名中1名変わる
- ・ 自己主張が強くなる
- ・ 意が通らないこと、イメージと違うことに

怒る感情の表れ

3年目での主な難しさ  
①安定しない情緒  
②安定しない起床・就床

## 【難しさ①：安定しない情緒】

意が通らないことでイライラしやすい



〔対応〕 目的に意識を向けて気持ちの切り替えを図る

- ・ 甘える時と頑張る時のメリハリ
- ・ 担任間で対応の統一



目的に意識を向けて気持ちを切り替える

## 【難しさ②：安定しない起床・就床】

入眠に時間がかかり、起床でぐずり、泣きやすい



〔対応〕 すっきり起きられるように起こし方を工夫

- ・ 電気をつけて自然な目覚めを促す
- ・ 起こす順番を最後にする



泣くことは減った

## 4) Aさんと私の4年目

- ・ 入園6年目、小学3年生
- ・ 担任3名中2名変わる
- ・ 周囲の騒がしさ、特定の場面に起因して泣きやすい
- ・ 一度泣き出すと切り替われない

4年目での主な難しさ  
①安定しない情緒  
②落ち着かない寝付き

## 【難しさ①安定しない情緒】

特定の利用者さんの声に過敏に反応し、泣く



- 〔対応〕 対応の見直し
- ・ 気持ちを受け止める
  - ・ 関係性を軸に切り替えを図る



泣かなければならない・固執的な反応

## 【難しさ①安定しない情緒】

服薬相談



〔対応〕 対応の統一性

- ・ 目的に意識を向けて気持ちを切り替える
- ・ 取り組みの後にハグをして褒める



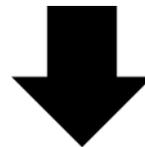
ぐずっても気持ちを切り替えやすくなった

## 【難しさ②：落ち着かない寝つき】

就床後に落ち着かなくなる・入眠に時間がかかる



- 〔対応〕気持ちを落ち着かせてから就床へ
- ・泣き止んでからベッドに促す
  - ・寝付くまで傍で見守る
  - ・服薬調整（メラトベル）

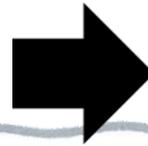


落ち着いて入眠できるようになる

### 3 私の気持ちの変化

#### 1) Aさんと私の1・2年目

- ・ 食事の進みにくさ
- ・ 情緒の不安定



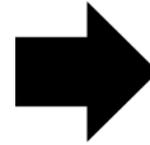
アドバイスを実践



### 3 私の気持ちの変化

#### 1) Aさんと私の1・2年目

- ・ 気持ちを受け止め  
安心できる関係づくり
- ・ 気持ちよく食べられる  
雰囲気づくり



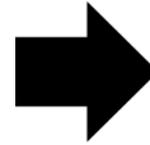
- ・ まったく飲み込めない
- ・ 泣いてしまう
- ・ 改善が見えない

このまま対応を続けていいのか・どう対応すればいいのか

### 3 私の気持ちの変化

#### 1) Aさんと私の1・2年目

アドバイスを実践して改善

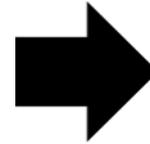


Aさんの人柄、特性  
支援の意図、意味  
理解できていなかった

手ごたえを感じなかった

## 2) Aさんと私の3年目

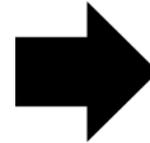
自己主張できる成長  
精神的にたくましくなった



次のステップの  
支援を検討

3 私の気持ちの変化  
2) Aさんと私の3年目

担任間での  
対応のバラつき

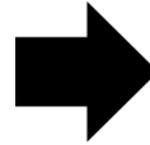


反発的に泣く姿

混乱して不安に繋がっている

3 私の気持ちの変化  
2) Aさんと私の3年目

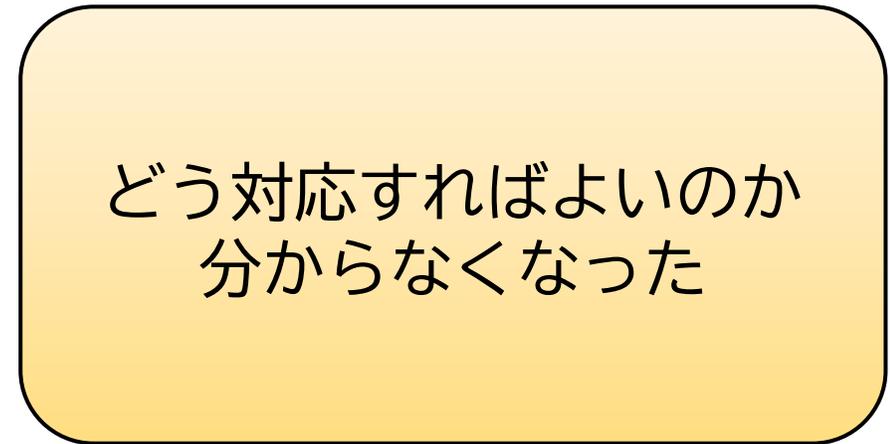
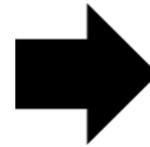
対応の統一性



情緒の安定

トライしてみたの気づき・手ごたえ

### 3) Aさんと私の4年目



3 私の気持ちの変化  
3) Aさんと私の4年目

アドバイス  
担任間の連携  
ミーティング



Aさん自身を  
捉え直す

「こだわり」に注目しすぎず行動の理由を探る

## 4 大切にしていたこと・気づいたこと

- ・ 相手を知るための疑問 “なぜ” を持つ
- ・ 一人で考えるのではなく、チームで相談したりミーティングや記録を通して常に考え続けること



- ・ 出てくる行動一つ一つの理由と背景を正しく捉える

## 事例②

わかることできることに凹凸があるBさん

# 1 Bさんの紹介

## <プロフィール>

- ・ 中学3年生 男子
- ・ 中度知的障害 自閉症
- ・ 入園8年目
- ・ 精神科薬の服用なし

### <入園前の様子>

- ・人とお喋りをすることは好き
- ・学校では問題なく、手がかからない
- ・友達と打ち解けることは難しく、我慢してしまう
- ・人の評価を気にする
- ・家では、小学1年生の秋頃から学校への行き渋りが多く、長泣き、物に当たる・投げる

### <入園後の様子>

- ・小学2年生
- ・人懐っこい、誰とでも楽しくお喋り
- ・気が小さく臆病
- ・些細なことでメソメソ泣いてしまう
- ・気持ちが不安定になると排泄の失敗、食事の拒否

## 2 支援経過

### 1) Bさんと私の1年目

- ・入園5年目 小学6年生
- ・担任と楽しくお喋りすることができる
- ・急な予定の変更、プログラムの内容がいつもと違ってても気持ち揺れない
- ・友達とも友好的に関われる

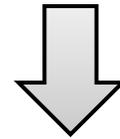
学園で繰り返してきた様々な経験から見通しがつき、  
安心して生活する土台となり、気持ちに余裕ができて楽しく活動に参加できる

2 支援経過  
1) Bさんと私の1年目

- ・ 楽しく活動に参加できるが、積極的ではない
- ・ 相手からの誘いを待つ、受け身姿勢
- ・ 何か言いたいことがあっても、話すことをやめてしまう
- ・ ちょっとした指摘に対して、メソメソ泣いてしまう

自信がない・踏み込めない・気持ち弱い

## 教材や活動で感じた違和感

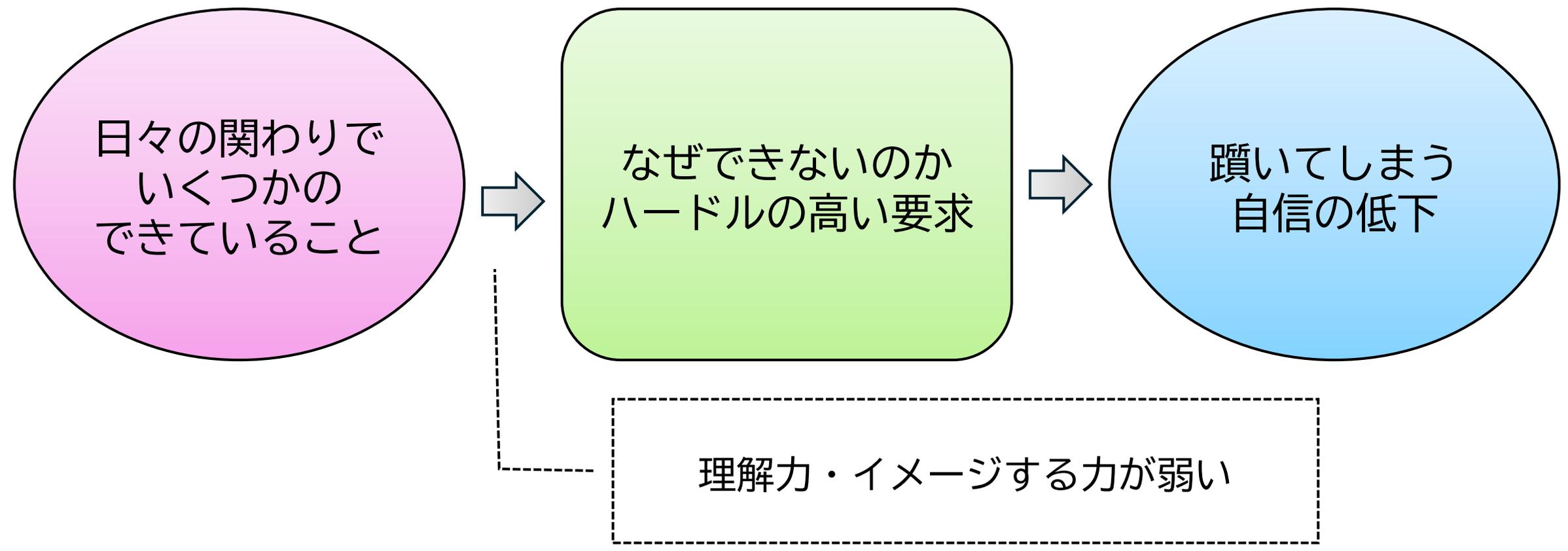


(例)

- ① 【マッチング教材】 ……赤色の目標に青色、○の目標に△を置いていた
- ② 【コミュニケーション】 ……会話ができるが、自信がないことは伝えられなかった
- ③ 【イラスト】 ……キャラクターの名前を言うが、ぐるぐる巻きの絵

こちらの伝えたことを理解していると思い込んでいたが、  
分からないこと、理解していないことがあるのではないかと

2 支援経過  
1) Bさんと私の1年目



今まで行っていたことや伝え方を見つめ直し、Bさんがどうしたら理解していけるのかを考えながら、もう一度支援の進め方を見直した

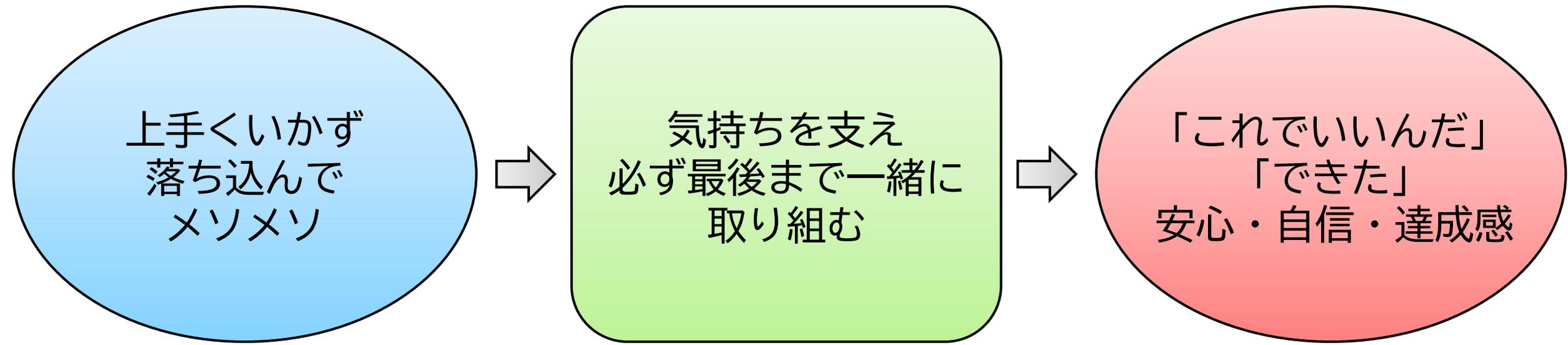
## 実践 【マッチング教材】

- 【課題】
- ・ 赤色の目標に青色、○の目標に△を置いていた
  - ・ 指示が分かっていない

- 【対応】
- ・ 身体で感じ取ってもらうため、手を添えて一緒に行く
  - ・ 動作と言葉をマッチングさせる
  - ・ 傍で見守る
  - ・ 不安な気持ちをキャッチして、必ず最後まで取り組む
  - ・ できたことを賞賛、成功経験を積む
  - ・ 毎日繰り返す

- 【結果】
- ・ 目標に向けた自分の動作に着目しないこともあったが、繰り返すことで少しずつ目的を理解
  - ・ ゆっくりではあったが自分で考えて置くことができるようになってきた

2 支援経過  
1) Bさんと私の1年目



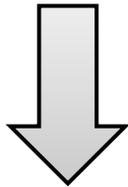
毎日同じように繰り返すことでゆっくりで時間はかかるが、  
確実に積み重なり、自分で考えて取り組む姿に変わっていった

## 《支援のポイント》

- ・ 身体で感じ取ってもらうため動作を補助する
- ・ 動作と言葉をマッチングさせる
- ・ 不安な姿をキャッチする
- ・ 必ず成功経験で終わらせる
- ・ できたことを賞賛、成功と一緒に喜び合う
- ・ 言いたい気持ちを代弁する
- ・ 毎日繰り返し経験させる

## 2) Bさんと私の2年目

1年目の時から、一つひとつ丁寧にこちらの伝えている内容をBさんが理解しているのかを照らし合わせながら進めてきた



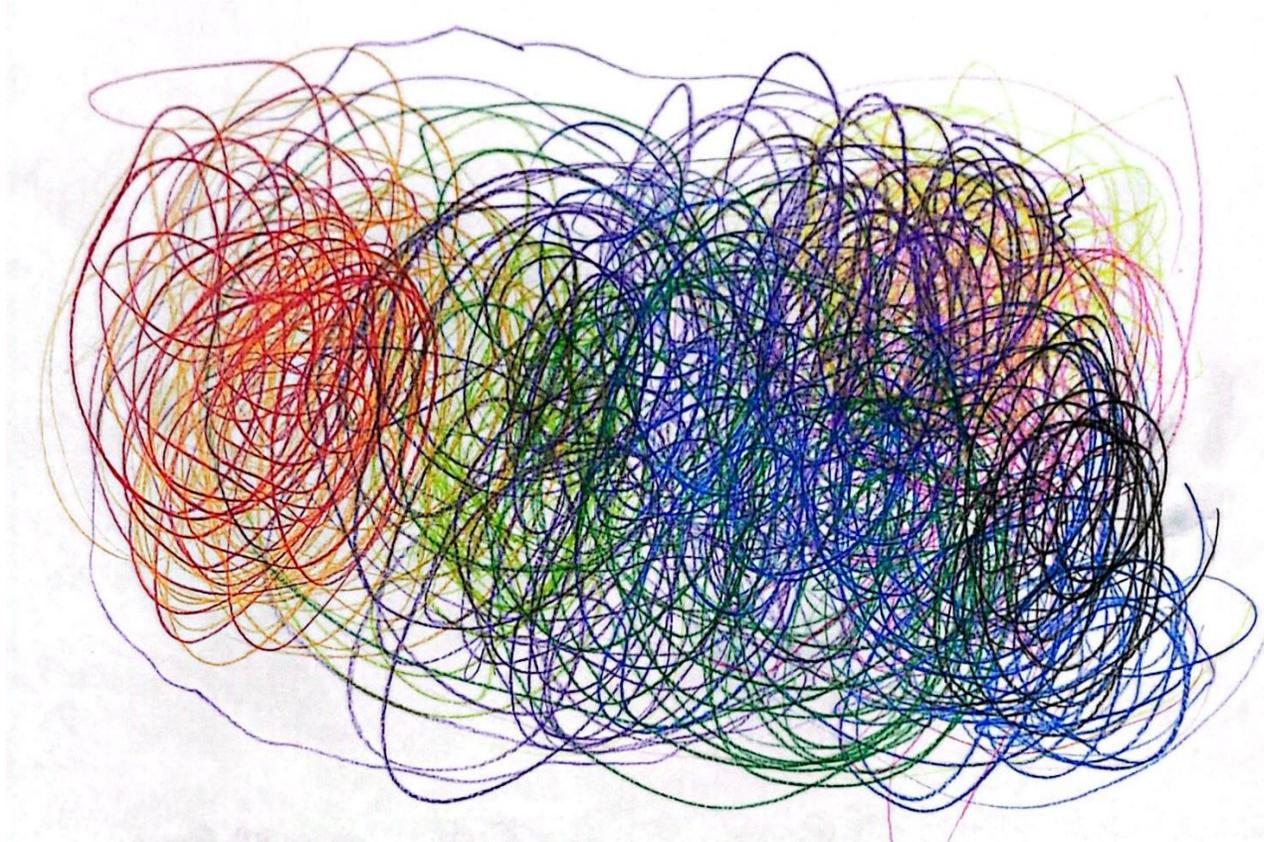
理解の広がりが見られた

### 実践⑤【イラスト】

うさぎの絵を描いた時、友達の絵を手本によく見て、いびつではあったが、「かお」「め」と言って、うさぎの顔を描いた

教材学習や作業学習を通して、集中して着目する力が培われたことで、手本の絵を真剣に見ながら一生懸命に描こうとする姿へ

2 支援経過  
2) Bさんと私の2年目

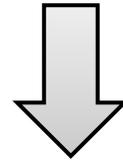


↓ 【2年目】 うさぎのイラスト



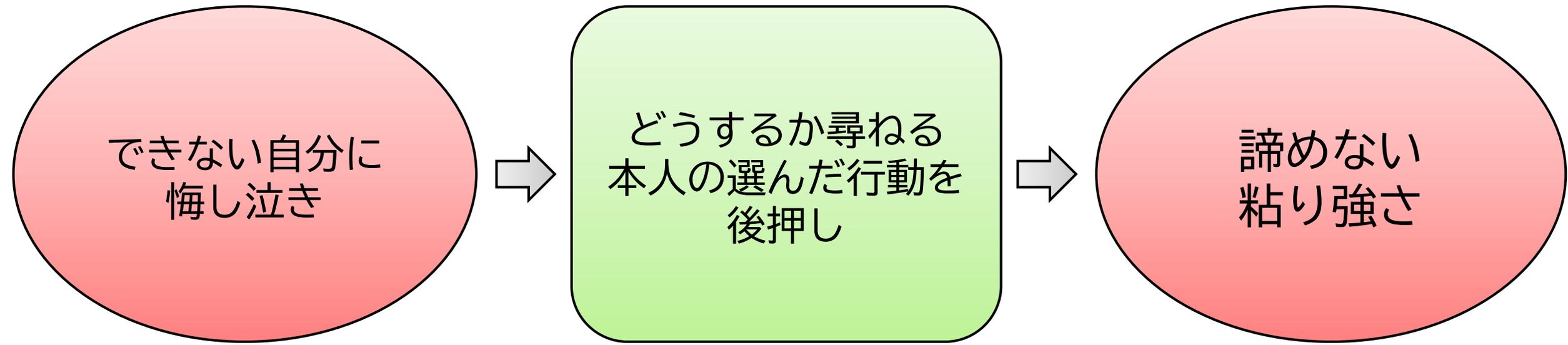
↑ 【1年目】 ぐるぐる巻きのイラスト

毎日繰り返して経験してきたことによって、理解が深まり、成功経験を重ね、1年目に比べて2年目はBさんの姿が大きく成長した



(例)

- ・ 目的にきちんと着目し真剣な眼差しで一生懸命に取り組んでいた
- ・ 新しいことへの挑戦を自分から伝えてくることが増えた
- ・ 周りの友達を意識するようになってきた
- ・ 友達を遊びに誘えるようになってきた
- ・ 我慢せずに断れるようになってきた



様々な経験を通して本人の中で自信がついてきたからこそ、  
自分の中で「できる」と思えることが増えてきた

## 《支援のポイント》

- 1年目で大切にしてきた支援のポイントを变えずに進めた

→本人の理解が深まっていき、自信が持てるようになってきた

→全体的に前向きになり活発に遅しく変わっていった

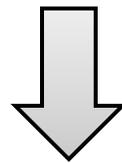
- 成長してきた姿をキャッチする

- 行動を認め、見守り、傍で支える

- 時には背中を押す

### 3 Bさんと私のまとめ

- ◆ Bさんの理解を深めて知っていくことが大切
- ◆ 「できた」と感じ取れるようになるまで毎日繰り返し経験させる
- ◆ 成功経験で必ず終わらせ、できたことを賞賛、喜びを分かち合う

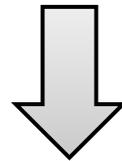


こういった繰り返しの日々が  
積極的な姿や逞しさにつながったのだと考える

## 4 気づき・学んだこと

「この子はこうだろう」  
表面的な理解によって判断しない

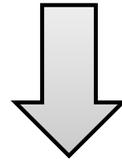
→その子自身の姿や背景を深めて知っていく



障害特性からくる躓きや生きにくさを  
心情洞察とともにしっかりと掴む



自分の思いや考えが強くなってしまい、  
支援が思うようにいなくなり  
「これでいいのか」と迷う



- ◆ 「なぜ、なんだろう？」と考え、理解していく
- ◆ そのためにはどうしたらいいのかと常に模索する
- ◆ 将来どんな人になってほしいのかを描きながら支援をする

- ★一人ひとりの特性をきちんと知る
- ★子どもたちの将来の展望を考える
- ★みんなで一緒に考えて支援をする